

ふたかみ NEWS プチトマト



毎日、頑張って仕事しています♪



木工班では、今まで取り組んでいる仕事に加え、ゆったり班の紹介でヘアピンの仕事に新しく取り組んでいます。まだまだやり始めた仕事ですがこれから木工班の仕事として頑張っていきたいと思ひます。(泉谷)

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥3-16-1 木村ビル4階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



はるクラブ いちご狩り

支援センターはる(南河内北障害者就業・生活支援センター)に登録されていて、一般企業に勤めている方々の余暇活動として、今回はいちご狩りへ行ってきました!みなさん笑顔でいちごをもぐもぐ!楽しいいちご狩りになりました☆(大前)



ハピバール 予定

* 午前貸し切り

4月11日(月)

* 休み

4月30日(土)

毎週水曜日、日曜日

TEL: 072-958-3233

このまちで暮らしたい
「障害者生活工房」(グループホーム)

—建設募金のお願い—

2022年6月open予定!!

新しい暮らしを支える拠点として...

建設募金へのご協力よろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店(ゼロキウキウ店) 【口座番号】0225417

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2021年度2月】

・石田陽喜 永平まゆみ

.....以上2口

■寄附.....細川直幸様/家族会 マスクを寄付していただきました

■ボランティア.....畑英作様/垣内秀夫様

■アルミ缶回収(1月分).....762kg

ありがとうございました

◆2021年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人ではグループホーム建設が始まっています。

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1口3,000円 団体会費: 1口10,000円】 郵便振替口座: 00940-5-325894



新年度（2022年度）に向けて 法人設立26年目のスタート

支部代表者会議

どうしても新型コロナウイルスの話からスタートしなければなりません。一回目の緊急事態宣言から2年が過ぎようとしています。第6波のオミクロン株が急激な広がりを見せ、保健所は相変わらずの崩壊状態、電話もつながりませんでした。疫学調査も事業所任せになっていま

す。医療の面でも同じようにひっ迫しており自宅療養の数は全国で50万人越えとも言われています。そんな中、障がいのある人の命とくらしを守り感染防止、拡大防止に様々な取り組み、工夫で事業継続に取り組みでいただいた職員、協力していただいた家族の方々には言葉では言い表せないほど感謝しています。本当にありがとうございます。まだまだ油断はできません。気を緩めることなく事業を継続し、仲間、家族、職員が安心して暮らせる環境を維持していきたいと考えます。安定した法人運営、事業所運営に今後とも仲間、家族、職員、関係者の

ふたかみ福祉会 八木昭二

2月18日（土）にきょうされん大阪支部、支部代表者会議がZoomで行われました。支部長のあいさつの後、「最新の施策動向ときょうされんの運動」と題してきょうされん常務理事の大野健志さんのお話がありました。

大野さんが理事をされている愛知県社会福祉法人さくらんぼの会の利用者が原告になっている、生活保護裁判、障害者自立支援法意見裁判、年金裁判のことから、自然災害のことを含めた、きょうされん災害対策プロジェクトチームの取り組み、社会保障予算など多岐にわたる内容でした。

政府のコロナ対策では濃厚接触者の待機期間を10日から6日に短縮、エッセンシャルワーカーの待機期間は事業所負担の抗原検査キットで4、5日目に陰性だった場合5日目に待機できるとしました。命を守ることでより経済優先と言わざるを得ません。

障害者総合支援法は提示改正の時期で、「グループホームの新たな類型」「のり・歳・介護保険優先制度」など、骨太方針の「給付の削減」「負担の拡大」と、負担あつて給付なしの財政優

先で進められているとのことでした。

お話はきょうされんの運動と続きました。1600年愛知県のゆたか共同作業所から始まった共同作業所づくり運動は「1977年8月6日に『きょうされん』は共同作業所全国連絡会として結成されました。

その時から大切にしている「共同作業所の実践」は1、障害のある人への理解を広げるための市民や地域に向けての行動「地域を変える実践」2、作業所やグループホームなど作る「社会資源をつくる実践」3、障害のある人の活動や生活を支える取り組みや働きかける「仕事や暮らしを支える実践」と整理できるとし、実践に最も大切な実践は障害のある人の願いは何なのか、制度に障害のある人を当てはめるのではなく必要とする制度を作り出すことだと述べられました。

各事業所のコロナへの対応で苦慮している報告もあり、命と暮らしを守る政策となるよう私たちの運動を進めていかなければいけないと思いました。（楠尾）

西浦支援学校

障害基礎年金申請会

西浦支援学校の進路指導の先生からの要望で、「障害基礎年金制度とその申請について」というお題で、話をさせて頂く機会がありました。

打ち合わせの段階では、懇談会等で子どもたちの将来に対する、金銭面での不安の声が多く挙がっているとの事でしたが、先生と話を重ねている内に、それだけでなく、進路そのものに対する心配、グループホームや成年後見制度、親なき後の子どもに対する心配と不安が入り混じっている話を聞かせて頂きました。

そのため、当日は障害基礎年金制度だけではなく、支援学校卒業後の進路やグループホームを始めとする、様々な障害福祉サービスの現状や成年後見制度、親なき後の事など実際にあった事例を交えながら、話をさせて頂きました。当日は、平日の午前中にも関わらず、80名近くの保護者の方が来られ、その後の質疑応答や個別質問は、様

々な質問や疑問、我が子のこれからを心配する声を聞かせて頂きました。

一つ一つの話を聞かせて頂く中で、個人的に感じた事は、制度や時代が変わり、以前と比べれば、様々な形で、障害のある方に対する事業所や制度は出来ているものの、親が子を心配する気持ちと障害のある我が子に対してのこの先の不安は変わらないものだと感じました。

一昔前と比べれば、障害のある方を取り巻く環境は時代を追うごとに変わっては来いますが、制度を始め、当事者に寄り添った世の中かと言われれば、まだまだ課題は多くあると思います。こういった課題が少しでも減り、このような不安が少しでも無くなるように、今後も今回のような機会があれば、地域や様々な機関と繋がりを深めていき、ともに様々な取り組みが出来るよう働きかけを行っていききたいと思います。（山下）

きょうされん「グッズデザインコンクール」5名の方が入選されました！

はびきの園からは1名が入選！

▽福井良太郎さん



家族が育てた植物などを題材に描かれています。下描きから色付けまで、一筆一筆丁寧に仕上げ、賞を取ることで自信にも繋がっています。

ハピボールからは4名が入選！

▽駒沢知美さん



アルファベットを並べて書き、さらに隙間をカラフルに塗ることでポップな作品になりました。アルファベットはアメリカのメジャーリーグのロゴだそうです！

▽山本真子さん



いつも遊園地やプールなど、「楽しい場所」を描かれています。作品を描き出すと、ペンに迷いがなく、いつも自由な発想で作品がつくられています。

▽新井薫さん



円をたくさん重ね合わせながら色鉛筆で細かく色を塗られました。周りには、ロボットやさかな、ふくろうもいますね！完成まで2ヶ月以上かかった大作です！

▽志田勇馬さん



野球がとにかく大好き！この作品はアメリカのメジャーリーグチームのロゴを描かれました。今回、入選して、とても喜ばれていました！

